

豊橋商議所が創立120周年で環境経営賞

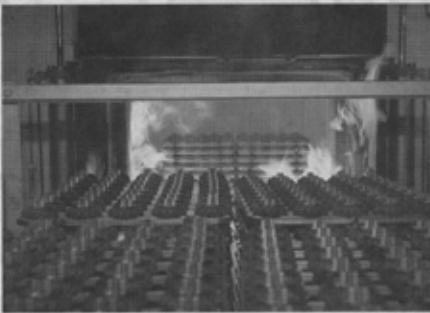
今年、創立120周年を迎え顕彰制度を一新した豊橋商工会議所(吉川一弘会長)は、新たに環境経営賞を創設し、第1回の最優秀賞を武蔵精密工業(豊橋市植田町)と日東電工豊橋事業所(同市中原町)に贈った。優秀賞には井村屋シーズニング(同市西七根町)と高川工機(同市花田町)を、奨励賞にはエコチャリ豊橋駅前大通店を運営するダイホー電気(同市佐藤1丁目)を選んだ。

武蔵精密工業、熱処理工程でCO₂削減



環境経営賞の創設は、利益の追求と環境負荷の低減を両立させながら先進的かつ実践的な企業の取り組みを発信すること、「環境経営」を普及させることが目的。独自の技術や製品などで、資源循環や環境負荷低減を推進する事業所を対象としている。

最優秀賞を受賞した武蔵精密工業は鉄製の自動車部品の熱処理工程において、エネルギー効率の改善を追求し、大幅な二酸化炭素(CO₂)排出量の



武蔵精密工業での熱処理工程のようす(提供)

日東電工豊橋事業所、廃棄物リサイクル

削減に成功した。

そのうちの二つ、油槽ヒーターでの加熱処理廃止は、油温の制御方法を最適化することでエネルギーロスの削減に成功した。審査委員会(稲垣隆司委員長)からは「ブラックボックス化した工程の無駄を削減した、今までにない切り口。投資額なしで大層なエネルギー削減を達成した。他社への展開も可能」と高く評価された。

各種テープを製造する日東電工豊橋事業所も最優秀賞に選ばれた。05年、再資源化センターを設立。従来、焼却処分していたプラスチック類から再生ペレットを製造し、テープ芯に加工したり、再生プラスチックとして外販している。

さらに、5000種類以上の製品を対象に、再資源可能物の洗い出しを行い、その分類や廃棄物リサイクルシス



材料リサイクル率を向上させた日東電工豊橋事業所(提供)

ダイホー電気、放置自転車回収し再利用

テムを確立。その結果、5年間で材料リサイクル率を13%向上させ、優れた環境経営と評価された。

ユニークな取り組みとして奨励賞を受賞したエコチャリは、ほつとステーション(東京都品川区)が展開する、放置自転車をリサイクルして販売・レンタルするフランチャイズ店。家電販売店やリサイクル店を運営するダイホー電気が11年、同市駅前大通2丁目の大豊商店街に開店した。

同店では、豊橋技術科学大学や不動産会社と提携して、構内やアパート・マンションの放置自転車を回収している。店に持ち込まれる中古自転車を含め、2年間で約1000台を集めた。回収した自転車をメンテナンスして、1台5000円程度の値段から販売。1泊2日525円でレンタルもしており、出張で豊橋を訪れるビジネスマンに利用されている。

審査委員会は「事業が始まってまだ2年。これからビジネスモデルが定着、拡大していくだろう」と今後に期待を込めて授賞を決めた。

授賞式は27日、同商議所通常議員総会前に、ものづくり大賞、都市デザイン文化賞と合わせて行われる。

(石川正司)



リサイクル自転車販売するエコチャリ豊橋駅前大通店